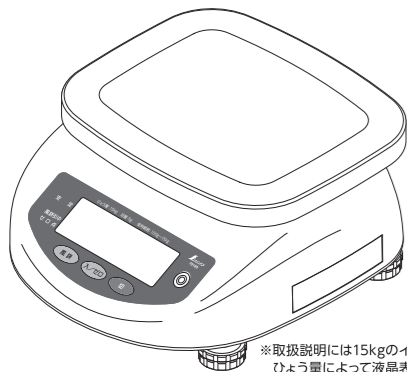


品番 70107
デジタル上皿はかり 30kg 取引証明以外用

はじめに

シフワ「デジタル上皿はかり」をお買上げいただき、誠にありがとうございます。
この製品を正しく安全にお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
この取扱説明書は読み終わった後も大切に保管してください。



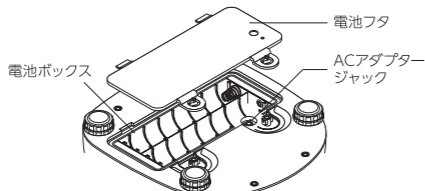
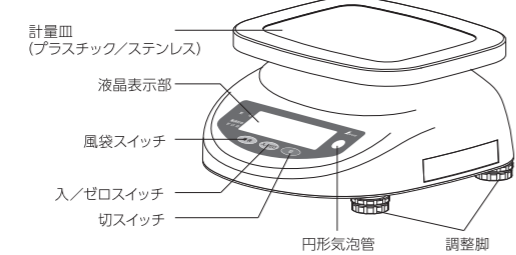
※取扱説明には15kgのイラストを使っております。
ひょう量によって液晶表示に若干の違いがあります。

注意

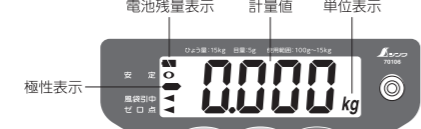
はかりとしての機能が失われる可能性があります。
●各種設定は、必ず取扱説明書の手順通りに行ってください。
●むやみに各スイッチを押さないでください。
●絶対に分解しないでください。

- 本器は精密な「はかり」です。設置する場所には十分注意してください。
- 本器は防塵・防潮保護等級IP56構造になっていますが、直接水やホコリがかかる場所での使用はおやめください。
- 直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所での長時間のご使用はおやめください。故障の原因となります。
- 風のある場所・振動の多い場所など、不安定な場所での使用はおやめください。精度が著しく落ちる場合がありますので、しっかりとした水平な場所でお使いください。
- 計量皿を持つての移動や、本器に衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- ひょう量以上の物は載せないでください。故障の原因となります。
- 長期間ご使用にならない場合は、必ず電池を抜いて保管してください。
- 本器を極端に暑い場所や寒い場所(-5℃~40℃以外)でのご使用はおやめください。故障の原因となります。
- 分銅校正は、分銅をお持ちでない方は絶対しないでください。

各部の名称



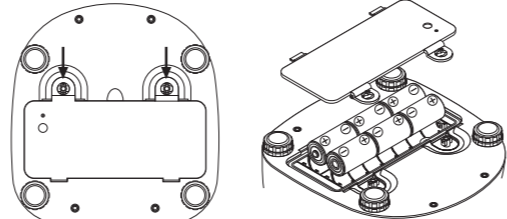
液晶表示部



安 定 ○マーク：計量値が安定すると表示されます。
風袋引中 ◀マーク：風袋引機能の作動中に表示されます。
ゼ ロ ◀マーク：ゼロ点の時に表示されます。

電池の入れ方

- ①本体裏面の電池フタを止めているツマミを回して電池フタの溝に合わせて電池フタが外れます。
- ②電池の+と-を間違わずに正しく電池ボックスに入れてください。
- ③交換の際は、新品で同じ種類の電池を6本同時に挿入してください。

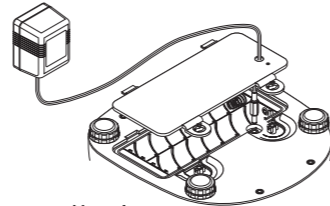


電池残量表示

電池の残量は十分あります。	電池の残量が少なくなりました。新しい電池を挿入してください。	電池の残量がなくなりました。電池を交換してください。

ACアダプターの使い方

- ①AC電源(AC100V)をご使用の場合は、別売のACアダプター(品番 70119)をお買い求めください。
- ②乾電池とACアダプターの併用はできません。
- ③ACアダプター使用時は、IP56の性能は維持できません。



ステンレス皿の使い方

- プラスチック皿と交換する形で使用してください。
- 皿の交換は、電源を切った状態で行ってください。

設置の方法

- 平らな安定した場所に設置してください。
- 調整脚を回して円形気泡管の気泡が円の中心になるように調整してください。
- 対タつかないように調整脚を回して調整してください。



基本操作

- ①電源を入れて電源が入ります。
- ②表示が点滅してから「CAL」を表示します。
- ③容器を計量皿に載せ「ON/OFF」を押してください。
- ④「CAL」を表示したらひょう量を超えないよう量を超えないでください。
- ⑤9分間、計量物を載せなかったりスイッチの操作を行なわないとオートパワーオフ機能が働き、電源が切れます。



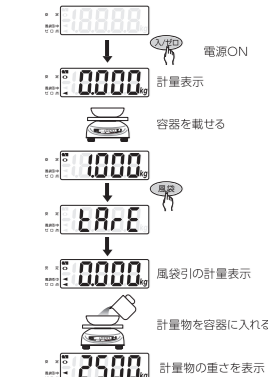
風袋引機能

- ①電源を入れて電源が入ります。
- ②表示が点滅した後に「CAL」を表示します。
- ③容器を計量皿に載せ「ON/OFF」を押してください。
- ④「CAL」を表示した後に、計量値が「0000」になり風袋引中 ◀マークが出ます。
- ⑤安定 ○マークを表示したら容器に計量物を入れてください。
- ⑥安定 ○マークを表示したら重さを読み取ります。
- ⑦容器を交換した時は、もう一度「ON/OFF」を押してください。「CAL」を表示した後計量値が「0000」になります。
- ⑧風袋引を解除する時は容器を計量皿から取り「ON/OFF」または「ESC」を押してください。風袋引中 ◀マークが消えます。

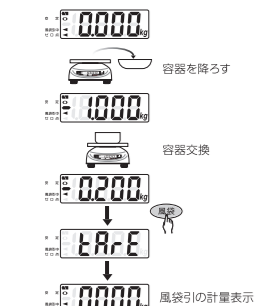


風袋引機能の使い方

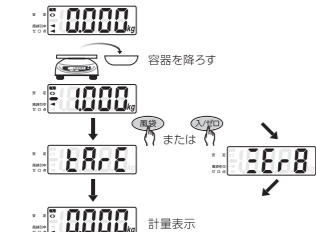
【基本的な使い方】



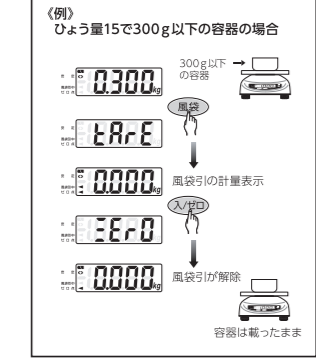
【容器の交換】



【風袋機能解除】



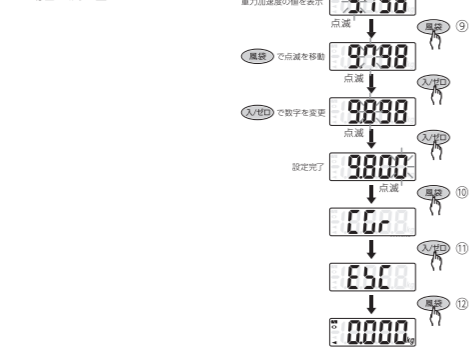
注意
容器の重さがひょう量の2%以下の場合には風袋引中に「入/ゼロ」を押すと計量皿に容器が載っていても通常の計量表示に戻ります。風袋機能を使う際には、ひょう量の2%よりも重い容器をご使用ください。



重力加速度の設定の仕方

- ①電源を入れて電源が入ります。
- ②表示が点滅している間にもう一度「CAL」を押してください。
- ③「CAL」を表示したら「ESC」を押してください。「CAL」を表示し、4桁目の「0」が点滅します。
- ④「CAL」を押して「0」の点滅を1桁目に移動してください。
- ⑤「ESC」を押して表示を「CAL」にします。
- ⑥「CAL」を押して表示を「CAL」にします。
- ⑦「CAL」を押して表示は「CAL」「CAL」「CAL」「ESC」の順で変わります。
- ⑧「ESC」を押すと重力加速度の値を表示します。
- ⑨「ESC」と「ON/OFF」を押して使用地域に合った重力加速度(右ページ参照)を設定してください。
- 「ESC」を押すと点滅する桁が変わります。
- 「CAL」を押すと点滅している数字が変わります。
- ⑩「ESC」を押して表示を「CAL」にします。
- ⑪「ESC」を押して表示を「ESC」にします。
- ⑫「ESC」を押すと表示が点滅して計量の表示に戻ります。

※初期設定は9.798です。
これを9.800に変更する場合の流れ図です。



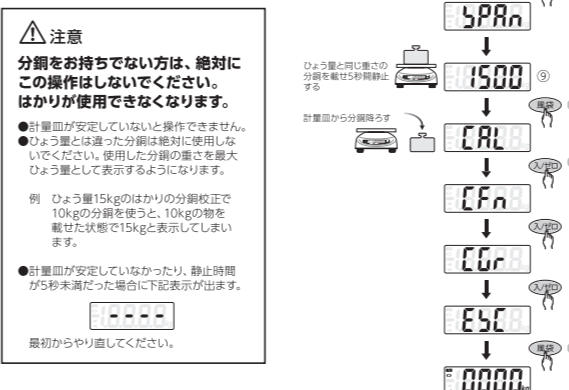
日本国内における重力加速度一覧表

使用区域の区分	使用区域に属する地域	重力加速度の大きさ(m/sec ²)
1区	釧路市・北見市・網走市・蘭州市・稚内市・紋別市・根室市 宗谷支庁管内・留萌支庁管内・網走支庁管内・根室支庁管内 釧路支庁管内	9.806
2区	札幌市・小樽市・旭川市・夕張市・岩見沢市・美瑛市 芦別市・江別市・赤平市・士別市・名寄市・三笠市・千歳市 滝川市・砂川市・歌志内市・深川市・富良野市・帯広市 石狩支庁管内・後志内支庁管内・上川支庁管内 空知支庁管内	9.805
3区	函館市・室蘭市・帯広市・苫小牧市・釧路市・伊達市 渡島支庁管内・檜山支庁管内・胆振支庁管内・日高支庁管内 十勝支庁管内	9.804
4区	青森県	9.803
5区	岩手県・秋田県	9.802
6区	宮城県・山形県	9.801
7区	福島県・茨城県・新潟県	9.800
8区	栃木県・群馬県・石川県	9.799
9区	群馬県・埼玉県・千葉県 東京都(八丈支庁管内・小笠原支庁管内を除く) 東京都府・鳥取県・島根県	9.798
10区	神奈川県・山梨県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県 三重県・滋賀県・大分県・兵庫県・奈良県・和歌山県 岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県	9.797
11区	東京都(八丈支庁管内に限る)・愛媛県・高知県・福岡県 佐賀県・長崎県・大分県	9.796
12区	熊本県・宮崎県	9.795
13区	鹿児島県(南州市・大島郡を除く)	9.794
14区	東京都(小笠原支庁管内に限る)	9.793
15区	鹿児島県(南州市・大島郡に限る)	9.792
16区	沖縄県	9.791

分銅校正の方法

- ①電源を入れて電源が入ります。
- ②表示が点滅している間にもう一度「CAL」を押してください。
- ③「CAL」を表示したら「ESC」を押してください。「CAL」を表示し、4桁目の「0」が点滅します。
- ④「CAL」を押して「0」の点滅を1桁目に移動してください。
- ⑤「CAL」を押して表示を「CAL」にします。
- ⑥「CAL」を押して表示を「CAL」にし、そのまま5秒間静止してください。
- ⑦「CAL」を押して表示を「CAL」にします。
- ⑧静止した後「ESC」を押すと「CAL」が表示してから、ひょう量「0000」(15kgの場合)を表示します。
- ⑨ひょう量と同じ重さの分銅を計量皿に載せて、5秒間静止してください。
- ⑩「ESC」を押して「CAL」を表示したら計量皿から分銅を降ろしてください。
- ⑪「CAL」を押して表示を「ESC」にします。
- 「CAL」を押すたびに表示は「CAL」「CAL」「CAL」「ESC」の順で変わります。
- ⑫「CAL」を押すと表示が点滅して計量の表示に戻ります。

※ひょう量15kgの場合の流れ図です。



注意
分銅をお持ちでない方は、絶対にこの操作はしないでください。はかりが使用できなくなります。
●ひょう量と分銅の重さは絶対に使用しないでください。使用した分銅の重さを最大ひょう量として表示するようにします。

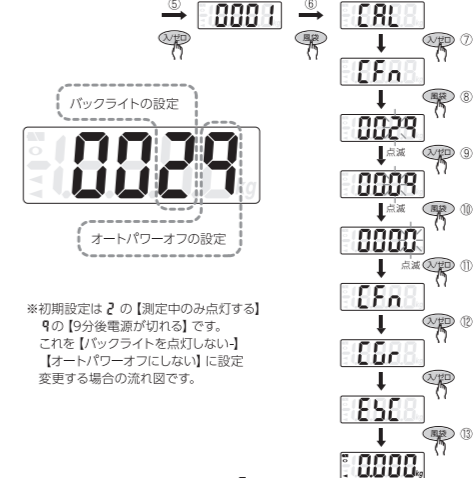
例 ひょう量15kgの分銅校正で10kgの分銅を使うと、10kgの物を載せた状態で15kgと表示してしまいます。

●計量皿が安定していない(なかつた)ら、静止時間から5秒経った場合に下記表示が出ます。



バックライト・オートパワーオフの設定

- ①電源を入れて電源が入ります。
- ②表示が点滅している間にもう一度「CAL」を押してください。
- ③「CAL」を表示したら「ESC」を押してください。「CAL」を表示し、4桁目の「0」が点滅します。
- ④「CAL」を押して「0」の点滅を1桁目に移動してください。
- ⑤「CAL」を押して「0」を「1」にします。
- ⑥「CAL」を押して表示を「CAL」にします。
- ⑦「CAL」を押して表示を「CAL」にします。
- ⑧「CAL」を押すたびに表示は「CAL」「CAL」「CAL」の順で変わります。
- ⑨「CAL」を押して「0000」の2桁目の「2」を点滅させます。
(初期設定では2桁目は「2」ですが、設定変更された場合は「2」でないこともあります。)
- ⑩「CAL」を押して「2」の数字を変更し、バックライトの設定を変更してください。
●「2」:測定中のみ点灯する。 (正常時点灯。 「0」:点灯しない。
- 「ESC」を押して1桁目の「9」を点滅させます。
(初期設定では1桁目は「9」ですが、設定変更された場合は「9」でないこともあります。)
- ⑪「ESC」を押して「9」の数字を変更し、オートパワーオフの設定を変更してください。
●数字の「1~9」は「分」の範囲。 「0」はオートパワーオフにしない。
- ⑫「ESC」を押して表示を「CAL」にします。
- ⑬「CAL」を押して表示を「ESC」にします。
- ⑭「ESC」を押すと表示が点滅して計量の表示に戻ります。



※初期設定は「2」【測定中のみ点灯する】
9の【9分後電源が切れる】です。
これを【バックライトを点灯しない】
【オートパワーオフにしない】に設定
変更する場合の流れ図です。

エラー表示の説明

エラー表示	原因と対策
	計量物がひょう量を超えています。 速やかに計量物を降ろしてください。
	分銅校正に異常があります。 再度、分銅校正を行ってください。 ※分銅をお持ちでない方は、大変申し訳ありませんが操作できません。
	電源を入れる際に本体が不安定だった。 しっかりとした平らな安定した場所に置いてご使用ください。

仕様

ひょう量	3kg	6kg	15kg	30kg
使用範囲	20g~3kg	40g~6kg	100g~15kg	200g~30kg
分解能	1/3000			
目量	1g	2g	5g	10g
直線性	±1g	±2g	±5g	±10g
再現性	±1g	±2g	±5g	±10g
スパンドリフト	±0.003%/℃			
液晶表示	文字高30mm			
使用湿度	-5℃~40℃ 85%以下			
保管湿度	-10℃~50℃ 85%以下			
防塵・防潮保護等級	IP56 (乾電池使用時)			
計量皿寸法	240 (L) × 200 (W) mm			
本体寸法	281 (L) × 259 (W) × 148 (H) mm			
本体重量	1.910g	1.915g	1.924g	1.928g
電源	アルカリ単1乾電池×6個 (付属していません) / ACアダプター(別売 品番70119)			
電池寿命	バックライト未使用時 約500時間		バックライト使用時 約250時間	

保証規定

1. 保証期間はご購入の日より有効です。
2. 取扱説明書に記載されている使用方法・取り扱いは注意に従った正常な使用状態において、保証期間内に故障した場合に無償修理もしくは無償交換させていただきます。
3. 無償修理・無償交換の依頼の際は、必ず本書を提示の上お申し付けください。
4. 保証書は紛失された場合にも再発行は致しません。大切に保管してください。
5. 保証期間が満了後も、下記に該当する場合は無償修理となります。

●本器の「表示」がない場合。 ●取り扱いは注意に従った正常な使用状態において、保証期間内に故障した場合。 ●保証上の不備による故障 (落下・浸水など)。 ●災害による故障 (地震・火災・水害など)。 ●本書に販売店名・お買上げ年月日・お客様名・お買上げ住所の記入のない場合。もしくはそれらを訂正した場合。 ●その他、これらに準ずる場合。

品番	70107	品名	デジタル上皿はかり 30kg 取引証明以外用
お客様住所	TEL ()		
お買上げ住所	〒 - - - -		
お買上げ年月日	年 月 日	※お買上げ日から1年間有効です。	
お買上げ店名			
お買上げ住所			
お買上げ電話			